

No.15 2026年 3月 8日

受難節(レント)第三主日礼拝
説教『主に見つめられて』

司会 吉丸初美 師
奏楽 自動演奏機
招詞 エペソ人への手紙 5章1節
主の祈 (5 6 4)
讃詠 5 4 6
交読詩編 詩 5 7 編
祈 禱
讃美歌 21 - 3 1 1 (1.2.3.4)
使徒信条 (5 6 6)
聖書 ルカ福音書 9章 57~62節
説教 (口語訳103頁、新共同訳124頁)

『主に見つめられて』

祈 禱
讃美歌 21 - 4 4 3 (1.2.3.4)
献 金
感 謝
報 告
頌 栄 5 4 4
祈 禱
後 奏

次週の礼拝(受難節レント第四主日礼拝)
説教『一粒の麦』
ヨハネ福音書 12章20節~30節

招詞Ⅱコリント人 1章 3~5節 / 交読詩篇 84 編
讃美歌 546、21-202、21-309、539

礼 拝 当 番
今週 8日 司会 吉丸初美さん
次週 15日 司会 安部愛さん
会堂清掃奉仕 4月5日(日)
コーヒータイム後に行います。

本日の集会

★教会学校 午前9時45分
★コーヒータイム 礼拝後~
それぞれの思いを語り合しましょう。

※広島西部教会学園理事会・評議員会 13時30分~15時
今週の集会/スケジュール

§広島キリスト教信徒会理事会 3月10日(火)10時30分~
会場:広島復活教会

※めぐみ幼稚園礼拝・誕生日礼拝・お別れ会 3月13日(金)
年中と年長さんのお別れの時を持ちます。

§2026年世界祈禱日 3月14日(土)13時~15時
会場:広島府中教会

主題:「わたしのもとに来なさい。休ませてあげよう」
—ナイジェリアからのメッセージ—

次週以降のスケジュール等

§広島牛田教会説教奉仕 3月15日(日)
山根先生の働きを覚えお祈りください。

※めぐみ幼稚園卒園式 3月17日(火)
2名の年長さんが卒園されます。おめでとございます。

※めぐみ幼稚園三学期終業式 3月18日(水)
豊かな一年を過ごすことができました。心から感謝。

§広島拘置所教誨奉仕 3月18日(水)13時30分~16時
施設にある方の信仰を覚えお祈りください。

§エバークリーンの会(西宮)出席 3月20日(金)14時~
●レコードコンサート 3月22日(日)13時~15時30分

ベートーヴェン ピアノ三重奏 変ロ長調〈大公〉
ベートーヴェン 弦楽四重奏 第13番 変ロ長調

ベートーヴェン 交響曲 第8番 へ長調 作品93
興味のある方はご参加ください。

★聖書を読む会 3月31日(火)10時30分~12時
創世記12章を続いて読みます。

先週の集会	男	女	計
教会学校	0	0	0
主日礼拝	2	3	5
聖書を読む会	3	2	5

◇今週の説教要旨(受難節レント第四主日礼拝)
『主に見つめられて』 ルカ福音書9章57~62節
冬季オリンピックでは日本はこれまでの最多のメダルを獲得しました。倒れても立ち上がる姿に心打たれた方も多かったでしょう。観客もコーチも見つめていました。だからこそ選手は立ち上がったのではないのでしょうか。彼らの前方には金メダルがありました。そして、私たちの前方には十字架に進まれる主イエスがおられます。主イエスはエルサレムに向かう決意を固められていました。避けられないこの道をそばにいた弟子たちも、弟子志願の者も誰一人として理解できませんでした。三人が見ていたのは苦難のメシアではなく自分の人生が安泰する栄光のメシアでした。しかし主イエスは、そうした彼らを見つめて十字架に向かわれたのです。真っ直ぐに決断できない。前に進みたいと思いつながらどこかで立ち止まってしまうことがあります。進むべきかどまるべきか。手放すべきかそれとも守り続けるべきか。期待だけでなく不安や迷いも生まれます。私たちもこの三人と同じです。主イエスに従いたいと思いつながら、心が揺れ動きます。理解してないからこそ。でも主は私たちをそのままで招かれています。理解できなくてもいい。わたしがみつめているから。私たちが主イエスを見つめる前にすでに主が見つめている。そのことを感じ取るとき、私たちの目は誰に向かうでしょうか。鋤に手をかけているならば、真っ直ぐに主イエスを見つめてこそ美しい畝が作れるのです。私たちは人生の歩みの中では、日々様々な選択をしています。進むべき道を選ぶとき、新しい務めを引き受けるとき、ある関係に責任を持つとき。こちらに進みたいと思いつながら、心のどこかで別の思いが残るときがあります。前に進みたいと思いつながらももう少し今の場所に留まりたい思い。諦め悪く選びながらも振り返ってしまいます。しかし、決して振り返ることが悪いものではありません。誰を見ているのかと問われています。信仰でも同じです。神に呼ばれ前へ進むよう導かれながらも後ろを見てしまう私たちに「迷いつながらでもためらいながらもでもいい、わたしが共に歩むから恐れなくて良い。わたしに従いなさい」と招かれています。